

松谷化学工業と伊丹市 「災害時における健康食品に関する協定」を締結 - 災害時の被災者の健康を守るための取り組み - 災害時に難消化性デキストリン(食物繊維)など松谷の健康関連製品を供給

でん粉加工と機能性食品素材の総合メーカー 松谷化学工業株式会社(本社:兵庫県伊丹市 代表取締役社長:松谷晴世以下、松谷)は、このたび、兵庫県伊丹市と「災害時における健康食品に関する協定」内容に合意し、2016年3月3日、伊丹市役所で本協定の締結式が行われました。締結式には、藤原保幸伊丹市長、松谷と同じく同協定を結ぶハウスウェルネスフーズ株式会社の井上 始代表取締役社長、当社副社長である松谷 義信が出席し、協定書に調印しました。

松谷は、今後、「災害時における健康食品に関する協定」に基づき、災害発生時において、被災された皆様の健康の維持、増進のため、当社の製品で食物繊維の一つであり、特定保健用食品の素材である「難消化性デキストリン」(商品名:パインファイバーW <http://www.matsutani.co.jp/product/tokuho/pinefibre/index.html>) などの食品を速やかに供給します。



東日本大震災の事例からも、災害時には、被災当初に配られる食料に栄養面で偏りがある場合や、カロリーなどの高い食品の摂取により血糖値の上昇やメタボリックシンドロームにかかる可能性が高まることなどが報告されており、災害時には救命の次に健康を守ることが重要とされています。